

平成 16 年度学校経営計画表

1 学校の現況

学校番号	54		学校名	波崎高等学校				課程	全日制普通科・機械科・電気科・情報技術科			学校長名	茂木 弘志			
教頭名	大久保 省三									事務(室)長名	藤代 米子					
教職員数	教諭	41	養護教諭	1	常勤講師	16	非常勤講師	3	実習教諭, 実習講師, 実習助手	9	事務職員	4	技術職員等	2	計	76
生徒数	小学科		1年		2年		3年		4年		合計		合計クラス数			
			男	女	男	女	男	女	男	女	男	女				
	普通科		69	67	81	60	78	58						12		
	機械科		39	1	37	1	37	0						3		
	電気科		38	0	35	0	73	0						4		
情報技術科		32	5	24	1	35	0						3			

2 目指す学校像

教育基本法と校訓「和衷協同」の精神に則り、心身共に逞しく、豊かな教養と情操を備えた国家および国際社会に貢献できる人材を育成する。

3 現状分析と課題 (数量的な分析を含む。)

項目	現状分析	課題
学習指導	学習能力が低い上、日常的に取り組む習慣が身に付いていないため、基礎学力が向上していない。	生徒一人一人が自ら学ぶ意欲を高め、基礎学力の向上を図る。(基礎基本の徹底、資格取得の推進、校内研修の充実等)
生徒指導	頭髪・服装、遅刻・欠席など基本的な生活習慣が完全に身につけていない。	基本的な生活習慣を身につけさせ、生徒の自立を図る。学校内だけではなく、家庭での指導が不可欠であることを認識させる。
進路指導	低学年からの進路指導が不十分である。	学年に応じた進路指導を積極的に推進し、早期の進路決定、学習意欲の向上を図る。
特別活動	部活動の加入率が低下している。	HR活動、部活動をとおして、心身共に健康で情緒豊かな人間性を培う。

4 中期的目標

- 1 基礎基本の徹底と個性の伸長とともに、普通科においては進学率の向上、工業科においては資格取得率や進学率の向上を目指す。
- 2 基本的生活習慣を身につけさせ、自らの行動に責任を持てる生徒を育成する。
- 3 魅力ある教育課程の編成や部活動の活性化により、地域社会から信頼される文武両面に秀でた活気ある学校づくりを目指す。

5 年次ごとの重点目標

年次	重点目標	具体的目標	達成状況
1年次	一人一人の自ら学ぶ意欲を高め、基礎学力の向上を図る。 基本的生活習慣を身につけさせ、生徒の自立を支援する。 選択科目の適切な指導と工業科共通履修の調査を行う。	予習・復習を習慣づけ、授業に対する主体的な取り組みができる態度を育成する。 定期的に頭髪・服装指導、校内巡視等を実施し、高校生らしい生活態度を身につけさせる。また、部活動や学校行事に積極的に参加させ、生徒の主体性を養う。 大幅に導入した選択科目の綿密なガイダンスを実施する。第1学年次の工業科共通履修の実態調査を行う。	
2年次	一人一人の自ら学ぶ意欲を高め、基礎学力の向上を図る。 基本的生活習慣を身につけさせ、生徒の自立を支援する。 学年に応じた進路指導を積極的に推進し、早期の進路決定、学習意欲の向上を図る。	教科・科目の特性に応じたきめ細かい指導をとおして、基礎基本の定着を図るとともに生徒が自ら学べる環境を整える。 日常の学校生活を通して、基本的な生活習慣や規範意識の確立させる。 職業選択や自己実現のためのガイダンス等で生徒が積極的に自分の進路を考えられるようにする。また、生徒個人との面談あるいは保護者との緊密な連絡等により、適切な進路の選択を支援する。	
3年次	一人一人の自ら学ぶ意欲を高め、基礎学力の向上を図る。 基本的生活習慣を身につけさせ、生徒の自立を支援する。 個に応じた進路指導を積極的に推進し、早期の進路決定、学習意欲の向上を図る。	多様な模擬試験や校内テストを行い、自己の客観的な学力を知らせ、学習する態度を身につけさせる。 社会で必要とされる基本的なマナーや規範意識を確立させる。 進学情報の提供、施設の積極的な活用による適切な進学先の選択と計画的に学習する習慣を身につけさせて進学率の向上を図る。また、推薦入試ばかりでなく、一般入試による進学も視野に入れた進学の指導を行う。 就職指導の充実と強化により、望ましい勤労観・職業観を育成する。	